

サマージョブのお知らせ

～ 国土交通省の仕事を疑似体験してみませんか ～

国土交通省では、今夏、これから就職について考えようとしている学生の皆さんを対象として「サマージョブ」を実施いたします。これは、国土交通行政に関連するテーマについて、課題の研究から現場見学、政策立案まで3日間～1週間という期間で効率的に行政のエッセンスを体験することができるプログラムです。行政について関心のある方、国土交通省の仕事について関心のある方、観光、交通等の分野について興味のある方、是非、ご参加ください。

1. 趣旨

大学生の皆さんのキャリア形成の支援に資するとともに、国土交通行政に対する理解を深めていただくことを目的として、国土交通省の実際の行政事務を疑似体験していただくものです。

2. 概要

- サマージョブに参加する学生（以下「参加学生」という。）の方には、国土交通省職員からのレクチャー、フィールドワーク等を通して、国土交通行政の課題について、研究・発表をしていただきます。
- テーマ、概要及び期間は別紙のとおりです。募集人員は各テーマにつき5名程度、時間は午前10時～午後5時の予定です。

3. 対象者 **大学3年生又は修士1年生**のうち、所属大学から推薦された者

（文系の方を優先させていただく場合がございます）

4. 場所 国土交通省本省（所在地：東京都千代田区霞ヶ関2 - 1 - 3中央合同庁舎第3号館）

5. 応募方法等

- 所属する大学から学生を推薦していただきます（**学生個人からの応募は受け付けません。**）参加を希望される学生の方は、「平成18年度国土交通省サマージョブ応募用紙」を大学の担当部局に提出してください。募集要項、応募用紙等は、所属する大学の担当部局にお問い合わせください。
- 各大学の担当部局から国土交通省への応募締切は平成18年7月5日（水）となっておりますが、**各大学内での締切については、所属する大学の担当部局にお問い合わせください。**
- 書類選考の後、受入予定者についてのみ、7月中旬までに各大学宛に連絡します。

6. 参加の条件

- （1）参加学生には、事前に、参加にあたっての遵守事項に関する誓約書を提出していただきます。
- （2）国土交通省は、サマージョブの参加経費（交通費、滞在費、食事代、保険料、フィールドワーク参加費等）については、原則として各自で負担していただきます。国土交通省は支給しません。
- （3）サマージョブへの参加に際しては、大学指定の災害傷害保険及び賠償責任保険に加入していることを条件とします。

7. 問い合わせ先

国土交通省大臣官房人事課 企画第一係 （電話） 03 - 5253 - 8170

平成18年度 国土交通省サマージョブ・テーマ等一覧

テーマ	概要	期間	募集人数
企業グループとしての鉄道と鉄道行政	鉄道会社の事業展開は、バス/タクシー事業等の交通事業をはじめ、沿線地域や駅施設等での物販、不動産など多岐にわたっており、鉄道事業を考える際には「企業グループの総合力」という観点が必要です。他方で最近、優良な関連事業ゆえに鉄道会社が投機的取引の危険に晒されるという事態が発生し、鉄道事業の健全な運営に新たな問題を投げかけています。鉄道企業グループが、鉄道事業への期待に応えつつグループ全体の価値を高めていくために、今後何が必要で、国としてどう関与していくべきかについて、企画・提案して頂きます。	7月31日(月) ～8月4日(金)	4～5名
成田・羽田をより使いやすくする10の提案	我が国のゲートウェイである成田国際空港、国内航空ネットワークの「ハブ」を担う羽田空港について、さらなる利便性の向上などを通じて利用者満足度の向上を図るべく、アクセス交通から飛行機の乗降までのさまざまな部分について、広く関係者や利用者からのヒアリングを通じ、問題点の抽出、解決策や政府をはじめとする関係者間の役割分担についての提言を実施して頂きます。	7月31日(月) ～8月4日(金)	4～5名を 2チーム
地域交通の利便性の向上	普段何気なく利用しているバスや鉄道といった地域交通の利便性の向上などを通じて地域活力の向上を図るべく、ケーススタディを通じて、地域交通の問題点を解決し、地域の活性化に資する提言を実施して頂きます。	8月8日(火) ～8月10日(木)	4～5名
環境負荷の小さい”国土交通”をつくる！	京都議定書の約束期間(平成20年度～平成24年度)を目の前に控え、地球温暖化対策は国土交通分野においても待ったなしで推進しなければならない重要な政策課題です。現在の政府対策をとりまとめた京都議定書目標達成計画の内容も踏まえながら、地球温暖化に資する国土交通をつくる方策を企画・提案していただきます。	8月14日(月) ～8月17日(木)	4～5名
交通セキュリティ確保のための国際協調	米国同時多発テロ・ロンドン同時多発テロ等、交通に対するテロの脅威が国際的に問題となっており、テロに対する脆弱性を克服するため、セキュリティの強化を図る必要がある一方、交通の円滑性を確保することも必要であり、この2点(セキュリティ強化と交通の円滑性)の両立のための国際的な協力方策について、企画・提案して頂きます。	8月21日(月)、 22日(火)及び 25日(金)	4～5名
観光と交通のコラボによる魅力ある地域づくり	少子化・人口減少時代を迎え、地域の公共交通と地域活力の維持が大きな課題となっています。本テーマでは特に、団塊の世代の大量退職時期を迎えてニーズが高まっている国内長期滞在などの新たな発想や枠組み等を例として、地域住民の足の確保と滞在観光客の移動の利便性向上を両立し、公共交通機関を維持・活性化させるとともに、地域の活力強化につなげる方策について企画・提案して頂きます。	8月22日(火) ～8月25日(金)	4～5名
その他数テーマ	(具体的内容等が固まり次第、追ってお知らせいたします)	8月中の 3日～1週間	それぞれ 4～5名